植木病院だより

Vol.17
平成24年11月

発行所 〒861-0136 熊本県熊本市北区植木町岩野285-29
TEL096-273-2111 FAX096-272-2117
熊本市立 植木病院
発行人 鳥越 義継



合併から2年余



台風の接近もなく梨、栗、柿、新米、等々豊かな実りの秋を迎えましたが、今年は梅雨時に記録的な豪雨に見舞われ、九州北部とりわけ県内では甚大な災害が発生してしまいました。阿蘇を始め植木、龍田地区など、罹災された皆様が1日も早く平穏な日々に戻られることを祈りつつあらためて心よりお見舞い申し上げます。

合併による熊本市病院局編入から2年半が経過しました。当初は制度やシステムの違いなどにより各部署で色々な戸惑いが無かったわけではありませんが、時の経過と、何よりも職員の努力により運営体制は安定してきました。

更新審査の時期を迎えていた日本医療機能評価機構・病院機能評価の更新認定を無事受ける事が出来たこともその表れかと思います。

しかし一方では医療提供体制に関して依然として解消できない懸案事項が続いているのも事実です。熊本市北部の医療拠点として、救急から在宅医療までを担う病院として、機能を果たして行くためには従前のように呼吸器内科、整形外科の常勤医確保は欠かす事が出来ません。また病院の健全運営という観点からも喫緊の課題でもありますが、郡部（旧）における医師確保の困難さは合併前と何ら変わる所が無いのが現実でもあります。こういう状況の中で幸いなことに呼吸器内科に関しては1月から週1回（水曜午前中）熊本市民病院による外来診療支援を受けることが出来るようになりました。院長として大変有難く喜ばしい一歩だと考えています。今後も地域住民の方々のご要望に沿えるような医療提供体制の充実に向けて尽力して参りたいと思います。

これから冬に向けてまたインフルエンザの季節に向かいます。今期のワクチンも3種（以前新型と呼ばれた豚インフルエンザを含む）のウィルス株が組み込まれています。早めの予防接種をご検討下さい。

病院長　鳥越　義継

診療情報便り

腹腔鏡下手術

この4月、国立病院機構熊本再春荘病院より内野先生が部長として赴任されてから、腹腔鏡下の手術が増えています。胆嚢摘出術や大腸切除術だけでなく、鼠径ヘルニアや腸閉塞、総胆管切開術などの難易度の高い手術も腹腔鏡を使って行っています。

腹腔鏡下の手術では、身体に小さな穴(径3～15mm)を数カ所開けて、炭酸ガスを注入して体腔を膨らませながら、内視鏡や細い手術道具（鉗子や電気メス、ハサミなど）を使って、テレビモニターを見ながら操作を行います。

内視鏡手術の長所として、①傷が小さいため、手術後の痛みが少ない、②手術の傷あとが目立たず、美容上もすぐれている、③胃や腸の動きの回復が早く、食事の開始が早い、④痛みが少ないため、歩行開始などの回復が早い、⑤術後の肺炎等の合併症も少なく、⑥退院や社会復帰も早い、⑦手術後の腸管の癒着が少ない（腸閉塞が少ない）などが挙げられます。

逆に短所としては、①開腹術と比べて、手術が少し難しくなる、②手術時間が長くなることがある、③専用の機材を必要とする（良質な機材の確保が必要）などがあります。

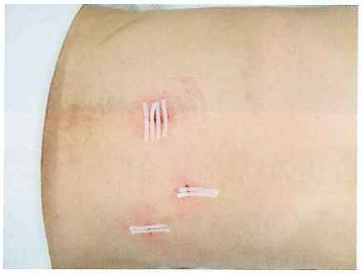
医療者側としてはややストレスが多くなるとも言われていましたが、①拡大された良好な視野で手術が行える、②モニターで映し出すため、術者だけでなく、助手、介助の看護師、麻酔医ら全員が同じ視野を共有できるといったメリットもあります。（開腹術では手術部位が深い時や、患者さんの肥満が強い時など、術者しか見えないことがあります）

癒着がひどい場合や、出血があり止血が難しい場合などで内視鏡手術を続けると危険なことがあります。このような場合は内視鏡手術に固執することなく、通常の開腹手術に切り替えることになります。



▲腹腔鏡下総胆管切開術の術中の様子

当科では現在、下記の病気を腹腔鏡下手術の対象としています。もちろん、病気の程度や病変の大きさなどによっては腹腔鏡下ではできないこともありますが、できるだけ、患者さんの体に負担の少ない手術を心がけていきたいと思っています。



▲腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術後の傷

当科で腹腔鏡下手術の対象としている病気

胆石症（胆嚢結石、総胆管結石）、胃癌、大腸癌、虫垂炎、鼠径ヘルニア、腸閉塞症、食道癌

診療情報便り

内視鏡検査

9月から、山鹿中央病院・副院長兼消化器科部長の木庭郁朗先生に毎週金曜日午前中の内視鏡検査を施行していただいています。胃・大腸のESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）等、当院消化器内科の豊田医師と一緒に行ってまいります。

新任医師紹介



平成24年4月より外科に赴任しました内野良仁と申します。消化器外科を専門にしています。最近では腹腔鏡を使った手術が主体となっており、当院でも広く行えたらと思っています。

地域住民の皆様の健康と当院の発展に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

副院長 兼 外科部長
内野 良仁

TOPICS

リハビリテーション室に言語聴覚療法を開設し3年目となりました!!!



言語聴覚療法の対象となる患者さんには、脳卒中や交通事故により人や物の名前を言おうとしても出てこない失語症や顔面に麻痺が残り唇や舌が思うように動かなくなる構音障害、半側空間無視や記憶障害などの高次脳機能障害を有する方、そして喉頭癌などによって起こる音声障害、加齢に伴って起こる認知症の方など多岐にわたります。

また、脳卒中や加齢による摂食・嚥下障害を有する患者さんとの関わりも大きく、医師や看護師、管理栄養士との連携を図りながら、QOL向上のために経口摂取へ向けた評価や治療を行っていくことも重要な役割です。

平成22年度より当院のリハビリテーション室に言語聴覚士が加わったことで理学療法、作業療法と合わせて総合的なリハビリテーションの提供体制が整いました。

今後とも熊本市北部の拠点病院として、より良い医療・リハビリテーションを地域住民の皆さまに提供していきたいと考えています。

外来からのご案内



健　診　科

1）人間ドック（通院２日コース　日帰りコース）
2）生活習慣病予防健診
3）企業健診
4）特定健診
5）各種助成の健診（熊本市からの助成金有り）
　①乳がん健診
　②大腸がん健診
　③肝炎ウィルス検査

▶▶▶**お問い合わせは　電話096-273-2111　医事班（内線101）まで**

特 殊 外 来

フットケア外来のご案内（要予約）

内科外来では、糖尿病患者さんのためのフットケア外来を行っております。専門医と糖尿病療育指導士・フットケアの資格持つ看護師が中心となり行っております。

禁煙外来のご案内（要予約）

平成23年より禁煙に関する総合的な指導及び治療管理を行う禁煙外来を行っております。是非ご活用ください。

▶▶▶**お問い合わせは　電話096-273-2111　内科外来　担当者まで**

外来診療のご案内

（平成24年10月1日現在）

診療科＼曜日		診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	第一診察室	勇　聡	勇　聡	勇　聡	勇　聡	豊田直以
		第二診察室	豊田直以		一森伸二	一森伸二	一森伸二
呼吸器専門外来		呼吸器科診察室			担当医		
循環器内科		循環器内科診察室	廣田晋一	定永／廣田	定永恒明	廣田晋一	定永恒明
外科		外科診察室	鳥越義継	久米修一	内野良仁	久米修一	平島浩太郎
整形外科		整形外科診察室	紫垣光久	紫垣光久	紫垣光久	紫垣光久	紫垣光久
脳神経外科（第2・4木曜日）		脳神経外科診察室				担当医	
総合内科	午後	外科診察室	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
フットケア外来		外科診察室				担当医	
禁煙外来		外科診察室		担当医			担当医

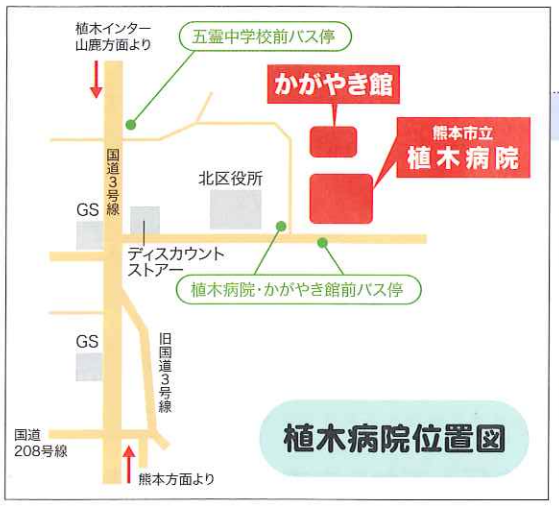
※　脳神経外科は第２・第４木曜日の午前中のみです。
※　水曜日午前の呼吸器専門外来は熊本市民病院からの派遣医のため、時間的制約があり、当日直接来院されても診察対応できない場合がありますので、事前の予約をお願いします。
※　当院では、再診予約制を取っております。診察時に次回予約を行って下さい。
　また、予約変更の電話については、平日午後（13：00～17：00）にお願いします。
※　午後の総合内科は内科系医師が担当します。

診察受付時間：平　日／8:30～11:30
　　14:00～16:00
休　診　日：土曜日・日曜日及び祝祭日
　　年末年始（12月29日から翌年1月3日）
※ 急患の方はこれに限らず24時間対応致します。

地域医療連携室のお知らせ

当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」がございますので、ご活用下さいますようお願い申し上げます。

■地域医療連携室
電話：TEL 096-273-2111（代表）
FAX 096-272-2117（代表）



植木病院位置図

交通アクセス

路線バス　九州産交バス：北区役所・小野泉水　行
熊本電鉄バス：北区役所　行
いずれも「植木病院・かがやき館前」バス停で下車

循環バス　ゆうゆうバス（熊本電鉄バス）植木循環ルート
「植木病院・かがやき館前」バス停で下車

乗用車
- 熊本市中心部より30分
- 山鹿市中心部より30分
- 九州自動車道　植木インターから10分

編集後記

本年度になり広報誌委員会の活動が再開され、久しぶりの広報誌の発刊となりました。まさか自分が編集後記の担当になるとは思ってもなく、何を書いたらいいのか迷っていたところ（季節や時事ネタでは発刊時とズレが出る恐れがあり）、先日熊本市職の研修『クレーム対応講座』に参加したので、その内容を少し書きます。

クレームとは、利用者の求めるサービスと利用する施設サービスの現状とのギャップによって生じます。そもそもクレームとは？

クレーム（英語）を辞書で調べると、どこにも苦情という言葉はありません。（クレーム＝苦情は和製英語です）本来の意味は、要望、要請、主張（意見）です。今まで勝手に"クレーム＝苦情"と捉え嫌なものと意識していたと思いますが、"クレーム＝要望、要請、主張（意見）"と前向きに考えることで、対応（解決）しやすくなると思います。

これからは、クレームに前向きに対応（解決）し、市民の皆さま（患者さん）からの信頼を得、安心で安全な医療の提供することで病院サービスの向上に努め、利用しやすい植木病院を目指したいと思いました。

広報委員　㊐